２０２６年 第２２週　（５月２５日～５月３１日）の感染症発生動向調査情報

＜今週の内容＞

１　管内の感染症発生状況

２　麻しんについて

３　ダニ媒介感染症について

４　エイズ予防月間について

１　管内の感染症発生状況

（１）管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第２２週は、報告はありませんでした。

（２）定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

（２０２６年２２週）※定当：定点当たり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID－19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
－	－	－	－	－	－	12	6	4	2	－	－	－	－	－	－	1	0.5	－	－

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)		急性呼吸器感染症	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
－	－	－	－	…	…	…	…	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	140	46.67

※2025 年４月７日から急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

◆厚生労働省ホームページ

急性呼吸器感染症（ARI）

２　麻しんについて

現在、国内において本年１月から４月 30 日までに 436 例の麻しん発生報告があり、2020 年以降最多となっています。また、海外での流行も継続しており、急激な感染拡大がみられる国・地域も存在しています。

麻しんは、空気感染等により簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると高い確率で発症します。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。麻しんを疑う症状がある時は、医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従ってください。また、医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

麻しんの予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者（１歳児、小学校入学前１年間の幼児）医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。

＜感染症に関する情報＞

◆兵庫県ホームページ

麻しん（はしか）について

◆厚生労働省ホームページ

麻しん（はしか）

MRワクチン

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

麻しん

麻しんの発生に関するリスクアセスメント（2026 年第一版）

3　ダニ媒介感染症について

先週、豊岡健康福祉事務所管内において重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告が１名あり、今年の累積患者数は３名となりました。

SFTS は SFTS ウイルスを病原とし、主な症状は原因不明の発熱、嘔吐・下痢などの消化器症状、血小板減少、白血球減少などが認められ、重症化数すると死に至ることもあります。潜伏期間は６～14 日で、治療薬はなく対症療法となっています。

マダニの活動が活発となる春から秋にかけて、ハイキングや草むらに入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくする、虫よけスプレーを活用する、帰宅後すぐに入浴し着替えるなどの予防対策が有効です。また、山野へ入った２週間以内に発熱や発疹が出たときはすぐに受診し、その時の行動を伝えることが重要です。

＜感染症に関する情報＞

◆兵庫県ホームページ

マダニに注意!ダニ媒介感染症について

◆厚生労働省ホームページ

ダニ媒介感染症

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

つつが虫病

日本紅斑熱

3　エイズ予防月間について

「自分のために、そして大切な人のために。早めのエイズ検査を。」

６月はエイズ予防月間です。

兵庫県においては 2025 年、HIV 感染者の新規報告数が７人、エイズ患者の新規報告数が５人であり、計 12 人でした。新規報告数に占めるエイズ患者の割合（いきなりエイズ率）は 41.6%であり、全国値 33.4%(2024 年）を上回っています。

HIV 感染者・エイズ患者は全国的に増加傾向にあります。感染経路は、性的接触によるものが大部分を占めており、感染力も弱いことから正しい知識をもって行動すると感染を防ぐことができます。

エイズの治療方法は進歩しています。HIV 感染を早く知り、早期に治療を始め、継続することにより、エイズの発症を防いで健康的な社会生活を送ることができるようになっています。また、適切な治療を受け、血液中のウイルス量を抑え続けることができれば、性行為によって他者に感染することはないことがわかっています。早期発見と適切な治療がとても大切です。

「自分のために、そして大切な人のために。早めの検査を。」
・HIV に感染の確認は HIV 検査を受けるしかありません。
・検査は、感染の機会があったのち３ヶ月以上過ぎてから受けてください。
・朝来健康福祉事務所ではプライバシーに配慮した無料・匿名検査を実施し、HIV 感染症・エイズや性感染症に関する相談も行っています。感染の心配が少しでもあればご相談ください。

〈朝来健康福祉事務所におけるエイズ検査(HIV 抗体検査)〉

日時：毎月第１・３木曜日　13:30～14:30（予約制）
検査：HIV 検査の他に、B・C 型肝炎ウイルス検査、梅毒検査も実施しています。
電話相談：079-672-0555

◆HIV 等検査オンライン予約

兵庫県/HIV・エイズに関する情報

◆朝来健康福祉事務所ホームページ

エイズ検査（HIV 抗体検査）を受けましょう